

様式1(主な取組)

活動指標名	文化資源を活用したビジネスの支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	16件	19件	21件	89件	27件	16件	100.0%	121,547	順調	<p>県内文化芸術関係団体等を対象に、文化芸術活動の持続化に向けた課題解決の取組等を公募し、採択された27件の取組に対して補助を行い、文化専門人材によるハンズオン支援を行った。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和3年度においては、事業公募、審査の結果、採択件数は27件となり、活動指標の計画値16件を上回ったことから進捗状況は順調となった。</p> <p>また、本事業を実施することで、県内団体による文化活動の実施件数や享受者の増加、他分野との連携促進などが図られ、文化芸術活動を支える環境の形成が推進された。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
実績値										
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に引き続き本事業による支援事例をweb上で紹介するほか、支援事例集の配布を通じて、事業趣旨の周知徹底を図る。 離島を含み、県内各地に、地域の多様な主体（企業、教育機関、医療・福祉機関、NPO等）向けに、文化芸術資源を活用する取組への意欲喚起に向けたセミナー等を開催する。 						<ul style="list-style-type: none"> 支援事例集を文化振興会のホームページで公開した。 セミナー開催の代替として、文化芸術資源の活用についての認知度の向上のために、採択された団体や個人の取組状況をWEBサイト等各種媒体を通じて情報発信を行い、事業の周知、応募の掘り起こしを図った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 事業の周知を県内の離島を含め、広い範囲に引き続き図る必要がある。

○外部環境の変化

- ・ 文化芸術振興基本法の改正により平成29年6月施行となった文化芸術基本法では、文化芸術に関する施策の推進に当たっては、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならないこととされている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 事業趣旨の周知徹底や、新たな応募事業者の掘り起しにつながる取組が求められる。
- ・ 地域の多様な主体に対して、文化芸術資源を活用する取組についての認知度や関心の向上を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 令和3年度に引き続き、本事業による支援事例をweb上で紹介するほか、支援事例集の配布を通じて、事業趣旨の周知徹底を図る。
- ・ 離島を含み、県内各地に、地域の多様な主体(企業、教育機関、医療・福祉機関、NPO等)向けに、文化芸術資源を活用する取組への意欲喚起に向けたセミナー等を開催する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出	施策	② スポーツ関連産業の振興
			施策の小項目名	〇スポーツ関連ビジネスの創出支援
主な取組	スポーツ関連産業振興戦略推進事業			
対応する主な課題	②スポーツ関連産業については、観光、健康、ゲーム、ファッション等といった周辺産業と融合が進みポテンシャルの高い産業として全国的にも期待が高まっている分野である。 ③沖縄県は温暖な気候のもと年中スポーツができる環境に恵まれ、プロ野球のキャンプやスポーツイベントが盛んであるものの、スポーツそのものを生かしたビジネスは少ない状況にある。今後は、スポーツを有望な産業資源として捉え、既存産業との連携・融合により関連ビジネスを多数創出していく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
スポーツ関連産業の振興を目的とした戦略の構築を図るため、スポーツ関連産業等の実態の把握・分析及び方向性の検討等を踏まえスポーツ関連ビジネスモスポーツの産業化を推進する。		H29	H30	R元	R2	R3
		実施主体		県		
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部スポーツ振興課			【098-866-2708】	
取組内容		4件				
実施主体		スポーツ産業定着化の支援				
担当部課【連絡先】		関連人材育成				
取組内容		スポーツ産業定着化の支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： スポーツコンベンション受入付加価値構築支援事業として、沖縄におけるハイパフォーマンスセンター構築に向けた取り組みなど3件に対して支援した。	
一括交付金(ソフト)	補助	-	-	-	-	14,070	65,669	一括交付金(ソフト)	OR4年度： スポーツを通じた地域・経済の活性化を推進するため、本県のスポーツ資源を有効に活用し新たなスポーツビジネスモデルを創出する。	
予算事業名	スポーツイベント開催支援事業 (オンライン等スポーツイベント開催支援)						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 事業終了	
一括交付金(ソフト)	補助	-	-	-	25,800	-	-		OR4年度： 事業終了	

様式1(主な取組)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 事業終了	
									OR4年度： 事業終了	
一括交付金 (ソフト)	補助	49,810	—	—	—	—	—			
活動指標名	支援件数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
		7件	0件	0件	7件	3件	4件	75.0%	14,070	概ね順調
活動指標名	スポーツ産業定着化の支援				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	国等と連携した支援	国等と連携した支援	国等と連携した支援	100.0%			
活動指標名					R3年度					進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案							反映状況			
<ul style="list-style-type: none"> 国、市町村、大学、関連事業者等と連携し、スポーツコンベンションの推進、アリーナ・スタジアムを核としたまちづくりなどに紐づくスポーツ関連産業の創出、振興を図る。 							<ul style="list-style-type: none"> スポーツコンベンションの推進、医・科学拠点の構築に向けた取り組みの芽出しとして支援を行うことができた。 			



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・内閣府沖縄総合事務局が事務局を務める、スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会との連携強化。
- ・スポーツと親和性が高い業態（健康など）のみならず、他業態の連携の模索。

○外部環境の変化

- ・東京2020大会の開催、FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催を契機とした、スポーツの機運が高まっている状況がある。
- ・コロナ禍における、マラソン大会をはじめとした、スポーツを通じたイベントや大会の減少が顕著である。
- ・沖縄アリーナの供用開始を契機として、アリーナを核としたまちづくりが進められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・県が新たな振興計画において掲げる「世界にはばたき躍動するスポーツアイランド沖縄の形成」のため、引き続きスポーツコンベンションの推進（誘致、定着）を図るとともに、アリーナ・スタジアムを核としたまちづくり、スポーツ×〇〇の取り組みなど、大きな市場規模をもつスポーツ関連産業の振興を推進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・国、市町村、大学、関連事業者等と連携し、スポーツコンベンションの推進、アリーナ・スタジアムを核としたまちづくりなどに紐づくスポーツ関連産業の創出、振興を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツツーリズムモデル事業数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	6件	4件	5件	15件	5件	3件	100.0%	37,676	順調	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け5件の補助対象事業者に対し、補助を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるするなど、スポーツイベントの定着化が図られるよう、支援枠を設定しており、モデル事業数が計画値を上回る5事業者となったため順調とした。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。 スポーツイベント情報を多く扱うwebサイト等を活用して、イベント情報の発信を支援する。 						<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーによる面談及びメール等での支援を定期的におこなった。 スポーツイベント情報が集まるWEBサイトやプレスリリース会社を活用し、イベント情報の発信を行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・平成24年度から令和2年度に支援したイベントのうち、翌年度自走化したイベントは37%である。
- ・創出したスポーツイベントの定着・自走化を図るためには、安定的な収入や執行体制が必要である。

○外部環境の変化

- ・国際情勢や感染症等に起因する旅行控えやスポーツイベントの中止等により、入域観光客数に影響がでている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・引き続き、イベントに精通したアドバイザーによる事業者支援を行う必要がある。
- ・国際情勢や感染症等に起因する入域観光客数やイベント等の参加者数の減に関し、対応する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。
- ・スポーツイベント情報を多く扱うWEBサイト等を活用し、イベント情報の発信を支援する。
- ・事業者のイベントによる稼ぐ力を向上させるため、モデル事業の支援に加え付帯事業についても支援を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツ観光のプロモーション				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	100.0%	104,780	順調	<p>活動概要</p> <p>沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着及び観光誘客を促進するため、スポーツイベント出展、web、メディア等様々な媒体を活用したプロモーションを実施した。R3年度は、R5年度に開催を控えたFIBA・W杯誘客に向けたプロモーションを新たな取り組みとして実施。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>コロナ禍においてスポーツイベントの中止、延期も相次いだが、マラソン・サイクリング・ゴルフ等の沖縄のスポーツ環境のPRや県内スポーツチームをコンテンツとした「観るスポーツ」誘客プロモーションを実施した。また、R5年度に開催を控えたFIBA・W杯の誘客プロモーションを全国各地で行った。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値										
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案								反映状況		
<p>・スポーツイベントだけではなく、沖縄において少人数でも楽しめるランニング、サイクリング、スポーツアクティビティの魅力を発信するとともに、関連施設、受入体制の安全面も併せてPRする必要がある。</p>								<p>・沖縄県におけるランニング、サイクリング環境のPRのみならず、県内スポーツチームの試合をコンテンツとした誘客プロモーションを実施。</p> <p>・コロナ禍においても、スポーツを楽しめる環境が充実していることをPRしている。</p>		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・この10年で沖縄のスポーツ環境が大きく変化する中で、スポーツツーリズムの実態を把握して、そのリサーチ結果(エビデンス)に基づいてターゲット層、地域、種目などを明確に定めた上で、プロモーションを実施する必要がある。

○外部環境の変化

・コロナ禍において、個人のスポーツ実施形態も変化しており、スポーツ・健康×観光といった高付加価値コンテンツの開発も求められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・スポーツツーリズムの実態把握を行うとともに、各ニーズにあった沖縄での付加価値を形成する必要がある。
- ・スポーツ観光における消費単価の拡大、長期滞在の施策につなげる必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・スポーツツーリズムの実態把握により、誘客ターゲット層を明確に定め、エビデンスに基づいた消費単価の拡大、長期滞在に向けた取り組みにつなげる必要がある。

様式1(主な取組)

活動指標名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進の取組				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B						
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	32,777	順調	ファン感謝イベントを活用した情報発信、那覇空港でのプロ野球沖縄キャンプPRブース設置、ガイドブックの配布等により、プロ野球キャンプ集積地ならではの取組を実施した。			
活動指標名					R3年度					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度									
活動指標名					R3年度			実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度									
(2)これまでの改善案の反映状況													
令和3年度の取組改善案						反映状況							
<ul style="list-style-type: none"> これまで以上に、ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、キャンプ地における感染防止対策に関する周知や受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施した。 							



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の拡大が不透明な中、キャンプ受入自治体の経済効果を高める取組が必要である。

○外部環境の変化

・2年ぶりの有観客実施に向けてNPBや受入市町村と連携して、感染防止安全計画策定やキャンプ地における感染防止対策を講じた。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・受入市町村や球団と連携し感染症対策徹底を図るとともに、来訪意欲につながるプロモーションや来訪者満足度を高める取組が必要。

4 取組の改善案 (Action)

・これまで以上に、ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、感染防止対策や受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施する。

・コロナ禍まで実施されていた中国や韓国のプロ野球球団に向けて受入を希望する市町村と連携して誘致活動等を実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	サッカーキャンプ誘致件数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	24件	28件	29件	26件	21	27	77.8%	27,633	概ね順調	<p>県外クラブ訪問等の誘致活動を行ったことやキャンプ受入市町村の芝環境を整備したこと等により、キャンプ実施クラブの拡大を図った。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一昨年まで実施していたサッカーキャンプのPR活動をとりやめるとともに、海外クラブの誘致も実施しなかったことで件数は減少した。</p> <p>しかし県外クラブへの誘致活動やキャンプ関係者等と連携し、芝・宿泊・医療環境等を整えたことで、コロナ禍においてもJリーグや女子、大学生のキャンプを実施することができた。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等と連携し、これまで以上にSNS等の各種情報発信媒体等において、受入市町村の観光資源に係る情報等やクラブのキャンプ情報を効果的に発信することにより、サッカーファンの関心を集め、コロナ後の地域振興に寄与する取組を実施する。 受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、誘客促進を目的とした取組を実施することができなかった。 西原町東崎公園サッカー場の芝生環境の向上を図り、クラブ受入を実施することができた。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 離島においては、実践相手 (トレーニングマッチ) の確保が課題となっている。

○外部環境の変化

- ・ Jクラブや海外クラブから沖縄キャンプの実施希望が多くあるが、受入可能なグラウンドが不足している状況である。
- ・ コロナ禍のため海外クラブの誘致や誘客促進を目的とした取組が難しくなっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等関係者と連携し、コロナ禍でもサッカーキャンプが実施できる環境を構築する必要がある。
- ・ キャンプ実施クラブ数を増やすため、受入施設の拡大を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等と連携し、受け入れ施設やホテル等でのコロナ対策を講じるとともに、陽性者が出た際の対応を関係者全員で共有し、受入体制の強化を図る。
- ・ 受入市町村とクラブが連携し、観光資源やキャンプ情報を効果的に発信することにより、サッカーファンの関心を集め、コロナ後の誘客を図る。
- ・ 受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出	施策	② スポーツ関連産業の振興
			施策の小項目名	〇スポーツツーリズムの推進
主な取組	スポーツコンベンション誘致事業			
対応する主な課題	③沖縄県は温暖な気候のもと年中スポーツができる環境に恵まれ、プロ野球のキャンプやスポーツイベントが盛んであるものの、スポーツそのものを生かしたビジネスは少ない状況にある。今後は、スポーツを有望な産業資源として捉え、既存産業との連携・融合により関連ビジネスを多数創出していく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する。		45件				
		歓迎支援件数				
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【098-866-2708】				
		スポーツコンベンションの歓迎の機運醸成等				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		スポーツコンベンション推進事業					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対して地域特産品を贈呈するなど、スポーツコンベンションの気運醸成等を図った。	
県単等	委託	4,470	4,686	3,768	3,374	3,016	3,036	県単等	OR4年度： 沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対して地域特産品を贈呈するなど、スポーツコンベンションの気運醸成等を図る。	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：	
									OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	歓迎支援件数(沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対する地域特産品の贈呈等)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	41件	44件	36件	32件	39件	45件	86.6%	3,016	概ね順調	沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチームに対して地域特産品や花束の贈呈等を行ったほか、ウェルカムボードや横断幕を制作するなど、県民を挙げてのスポーツコンベンション受入歓迎の気運醸成を図った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーにおける支援内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したセレモニー内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。 								<ul style="list-style-type: none"> ・各地で実施されたキャンプチームの新型コロナウイルス感染症対策を集約し、受入市町村、関係団体等が参加する連絡協議会において情報共有を図った。 		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・各市町村が主体となって実施している歓迎セレモニーについて、同じカテゴリーのスポーツチームに対しても、自治体間によって歓迎ムードの創出に違いが生じている。

○外部環境の変化

・歓迎セレモニーについて、各市町村にて新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮しながら実施を要する状況である。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・受入市町村のスポーツコンベンションに対する歓迎支援の成果や新型コロナウイルス感染症拡大防止等課題を共有化し、支援内容等について検討する必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーにおける支援内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したセレモニー内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	ウェブサイトでの情報発信				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	0	順調	沖縄の豊かな自然や食文化等に関する魅力やコンテンツについて、観光情報サイトや観光ブランディングサイトなどで情報発信を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 沖縄の豊かな自然や食文化等に関する魅力やコンテンツについて、観光情報サイトや観光ブランディングサイトで情報発信を行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 沖縄の豊かな自然や食文化等に関する魅力やコンテンツについて、観光情報サイトや観光ブランディングサイトで情報発信を行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、地域の医療や受け入れ体制に配慮した情報発信が必要

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大による旅行需要や旅行スタイルの変化

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要や観光スタイルの変化に対応し、沖縄が提供できる価値や魅力について、ブランドイメージの浸透を図る。

4 取組の改善案 (Action)

- ・沖縄の豊かな自然や食文化等に関する魅力やコンテンツについて、観光情報サイトや観光ブランディングサイトで情報発信を行う。